



小原 頼子（中津市）
平成14年就農
柑橘の生産・加工・販売



就農のきっかけと現在の取組

夫の両親の病気を機に、21年前（平成14年）に夫の実家（当園）に就農し、農業経験ゼロでスタートしました。当時は草刈り機を操作することすら男仕事と認知されている時代でしたから、周囲の声に悔しい思いをすることも度々ありましたが、近年は大分県女性農業者組織（AFF）の会長や大分県女性チャレンジ賞を受賞したことで周りの反応も変わってきました。夫が早期退職して一緒に農業するようになってからは、加工品の生産・販売にも力を入れ始めました。令和4年度からは国の支援対象となり、6次産業化プランナーにも支援してもらっています。当農園では、県柑橘試験場の研究員だった夫が退職後10年かけてみかんの新品種「マコポン」を開発しました。柑橘栽培だけでなく品種育成に興味がある方を探していますが、こちらはなかなか厳しいです。また、季節労働力のシェアリングを運営するような会社が県内の地域毎にできることを望んでいます。日雇いや使い捨ての労働力にならないよう、長く継続勤務できる体制を整えることで、経営者は人手を集めることに悩むことや作業を毎回教える苦労もなく、雇用者も周年雇用で安定した収入を得られるようになるのではと、思っています。

今後の展望と皆さんへ一言

様々な経験を重ねてきたからこそ、今後は後輩への助言や相談に乗ることも役目のひとつだと感じています。「義理と人情の頼子」として、農業を志す方々をパワフルに後押ししていきたいです。



令和5年7月作成

農林水産省HP「農業支援サービス関係情報」

農林水産省では、小原さんも望まれている農業現場における作業代行等を行う農業支援サービス事業者に対する補助事業や環境整備を行っています。詳しくは右のQRコードから農林水産省「農業支援サービス関係情報」をご覧ください。

農林水産省HP
「農業支援サービス関係情報」

